

2011年11月17日

掛川市教育委員会の皆さまへ

静岡県内では掛川市が先駆け、給食の食材の放射線量の測定を実施して下さることになり、私たち市民はとても嬉しく歓迎いたします。子どもたちの命と健康を第一に考えて下さりありがとうございます。

放射能についてはまだ解明されていないことが多く、専門家によって見解が違います。また、給食の食材の放射線量の測定方法については、地方自治体によって様々です。どの意見が正しくそしてどの方法が一番良いのか私たち市民も戸惑うことが多く、講演会に参加し、勉強会などを行うことで情報・知識を得るようにしています。私たち市民から行政に提案することで、行政と一緒に子どもたちが安心して学べる環境を作る取り組みを行なっていきたいと思っております。

給食の放射線量の測定実施と測定結果の公表方法について、以下ご検討下さるようお願いいたします。

(1) 「牛乳」「お米」「パン」「その他の食材」に別けた計測

(2) 現在、国が定める暫定基準値以下の場合も含め計測値を産地とともに公表

この暫定基準値は現在見直されており、来年4月にはより厳しい基準値が設定されます。<sup>1</sup> 子どもたちが食べる食材に放射性物質が含まれている場合は、国が定める基準値とは関係なく、どの位の量が含まれているのか知りたいと思っています。

(3) 測定時の見学

私たち市民は、どのように測定されるか見学をして学びたいと思っています。一度見学させていただけたら幸いです。

(4) 食べる前の測定

食べる前に測定することは、大変難しいということは、私たち市民も理解しています。将来的には食べる前の測定について視野に入れて下さるようお願いいたします。

私たち市民は要求するだけでなく、教育委員会の皆さまとともに放射能について学び、子どもたちのためによりよい環境を作って行きたいと思っています。

教育委員会の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

心からの感謝を込めて。

浜岡原発を考える掛川市民有志

<sup>1</sup> msn.産経ニュース食品中の放射性物質、新基準の上限は「年間1ミリシーベルト」 今後は食品の設定が課題 2011.10.28  
<http://sankei.jp.msn.com/life/news/111028/trd11102820280022-n1.htm>